

## 謹賀新年

### 令和7年の年頭にあたって

令和7年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は、当社事業につき、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、国内では、年始に能登半島地震が起こり、その後も線状降水帯による度重なる豪雨などの自然災害が発生し、多くの方々が被災されました。被災地の皆様には心よりお見舞い申し上げます。また、日本経済は、緩やかな回復傾向にあり、株価の上昇、賃上げが進み、マイナス金利政策も解除されましたが、原材料の上昇や円安による物価高、少子高齢化・人口減少の進行、トランプ次期政権の政策の行方など、景気の下振れリスクを抱える状況になりました。

当社が関連する信用金庫業界においては、自然災害の被災地への支援をはじめ、

地域社会全体の成長に向け、伴走型の創業・事業再生支援、ビジネス・人材マッチング、取引先の ESG・SDGs・DX の推進など、様々な支援が行われました。

このような状況の中、当社では、信用金庫ニーズを的確に把握し、迅速に対応するため、各信用金庫の担当制を敷き、「株主信用金庫のお役に立つ」を念頭に事業を展開してまいりました。

信金業務サポート事業では、今後の DX 推進に向けた当社ホストコンピュータのオープン系システムへの移行の開発を進めるとともに、しんきん為替集中サービス (BPO) においては、全国の情報サービス会社との連携により、新たに 13 金庫が加入し、利用金庫数は 102 金庫 2,532 店舗となり、運営にあたっては、当社独自の相関チェック機能 (特許取得) 等を活用し

た入力オペレータを介さない為替データの自動生成向上に取り組んでまいりました。自動機監視サービスでは、信用金庫からご要望をいただいた営業店の昼休業時間帯のATM監視にも対応いたしました。

また、個人情報漏洩いたしませんでしたが、ダイレクトメール作成の当社業務委託先でランサムウェア感染事案が発生し、信用金庫ならびにお客様には多大なご心配とご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございませんでした。

決済関連事業では、窓口収納サービスのサーバシステムをライフサイクルに合わせて更改し、大量一括収納や今後のビジネス拡大による収納件数増にも対応可能なシステムを構築いたしました。収納の取扱状況につきましては、収納代行会社や当社の協力会社とも連携し、金融向けと流通向けを合わせて、取扱店舗数が9,427店舗、収納件数は前年比103万件増の年間約3,397万件、決済金額は3,184億円の取り扱いとなりました。

当社の本年の取り組みにつきましては、新たに株主信用金庫との「業務システム検討会議（仮称）」を設置し、信用金庫の



ICT活用やDX化などの取り組みをより一層支援するとともに、為替集中サービスにおける発信データの自動化件数に応じたサービス利用料金の一部還元、委託先のランサムウェア感染により開始が遅れていたダイレクトメールの電子交付サービスの取扱開始、信用金庫の合併・共同センターへの加盟移行の支援などに注力してまいります。また、決済関連事業では、多様化と普及が進む各種決済サービスの動向やニーズに注視するとともに、引き続き、収納代行会社や当社の協力会社とも連携して収納件数の拡大に努め、他業界・他業態からの収益確保、信用金庫業界への決済資金の誘導を図ってまいります。

当社では、社会情勢や情報システム環境の変化に柔軟に対応するとともに、高品質かつスケールメリットを活かした安価なサービスの提供、安定運用に努め、従来にも増して株主信用金庫のご期待に応えてまいり所存でございますので、引き続き倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、この一年が株主信用金庫・関連団体・関連各社ならびに役職員の皆様にとりまして、実りある良い年となりますように、心からお祈り申しあげ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

代表取締役会長 **矢澤 孝太郎**  
(亀有信用金庫 理事長)

代表取締役社長 **飯 吉 真**

## 営業店昼休業時間帯における自動機監視サービスの開始

### 店舗運営の合理化・効率化をサポート

地域や店舗の実情に応じた店舗運営の効率化等により営業店昼休業実施が定着してきていることから、昼休業時間帯の自動機監視サービスの提供を開始しました。また、営業店窓口終了後や午後休業における自動機監視サービスも今後検討してまいります。

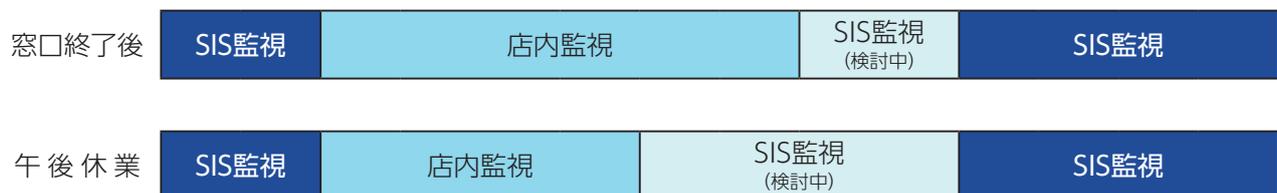
#### ■ ご利用イメージ（平日）



#### ■ 昼休業時間帯の監視料金

1店舗1時間 月額2,000円（税別）

#### ■ 営業店窓口終了後、午後休業店舗のSIS監視



## 信用金庫との「業務システム検討会議（仮称）」の設置について

近年は、ICTの進展やDX化など金融機関を取り巻く環境が大きく変化しており、信用金庫業界においてもこれらへの対応が喫緊の課題であり、当社としても、課題解決に向けた信用金庫の取り組みを一層支援することが責務と考え、意見交換いたしたく、令和7年度に新たな会議体の設置を予定しております。

## しんきん為替集中サービス（BPO）利用数が100金庫突破！

当社とNECが協業するしんきん為替集中サービス（BPO）は、信用金庫の業務負担の削減と安全確実な為替振込業務を実現することを目的に2021年3月より開始し、以来、多数の信用金庫にご加入いただき、この度、ご利用金庫数が100金庫を突破いたしました。今後もより一層のサービス品質・利便性の向上に取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

